



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月4日

上場会社名 コスモ石油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5007 URL http://www.cosmo-oil.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 桂造
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画ユニット (氏名) 高木 勢伊子 TEL 03-3798-3180
 コーポレートコミュニケーション部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月4日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	595,382	△20.0	22,877	372.1	22,163	966.4	13,671	—
27年3月期第1四半期	744,400	△9.5	4,846	325.0	2,078	△46.4	△6,478	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 16,902百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △5,554百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	16.14	—
27年3月期第1四半期	△7.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,418,619	224,018	13.0
27年3月期	1,428,628	207,520	11.7

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 183,860百万円 27年3月期 167,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は平成27年10月1日を効力発生日とする単独株式移転方式による持株会社への移行を予定しております。
 平成28年3月期の配当予想につきましては、当社株式1株につき持株会社株式0.1株を割り当てた場合における持株会社の1株あたり配当を記載しております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,236,000	△20.4	26,000	104.7	20,500	319.6	8,000	—	9.44
通期	2,621,000	△13.7	58,500	—	49,000	—	21,000	—	247.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は平成27年10月1日を効力発生日とする単独株式移転方式による持株会社への移行を予定しております。
 平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、当社株式1株につき持株会社株式0.1株を割り当てた場合における持株会社の1株あたり当期純利益を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）ジクシス(株)（平成27年4月1日付でコスモ石油ガス(株)より
商号変更）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	847,705,087株	27年3月期	847,705,087株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	670,596株	27年3月期	669,281株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	847,035,207株	27年3月期1Q	847,047,720株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成27年5月12日公表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記業績予想に関する事項は、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

四半期決算補足説明資料は、平成27年8月4日（火）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	3～4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は5,954億円(前年同期比△1,490億円)、営業利益は229億円(前年同期比+181億円)、経常利益は222億円(前年同期比+201億円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は137億円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失65億円)となりました。

各セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

① 石油事業につきましては、製品販売価格が下落したことにより売上高は減少したものの、製品市況は好調であったため、収益状況は大幅に改善いたしました。その結果、売上高は5,881億円(前年同期比△1,453億円)、セグメント利益は180億円(前年同期はセグメント損失61億円)となりました。

② 石油化学事業につきましては、製品販売数量が増加したこと及び製品市況が回復基調だったことにより、売上高は86億円(前年同期比+10億円)、セグメント利益は14億円(前年同期はセグメント損失18億円)となりました。

③ 石油開発事業につきましては、原油販売価格が下落したことにより、売上高は110億円(前年同期比△75億円)、セグメント利益は26億円(前年同期比△70億円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の連結財政状態と致しましては、総資産は1兆4,186億円となり、前連結会計年度末比100億円減少しております。これは、主に季節要因による販売数量減少に伴い、売上債権及び仕入債務が減少したこと等によるものです。純資産は2,240億円となり、自己資本比率は13.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月12日公表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、ジクス(株)(平成27年4月1日付でコスモ石油ガス(株)より商号変更)は共同支配企業に該当するため、連結の範囲に含めず、持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社における税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この変更による当第1四半期連結財務諸表に与える金額的な影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	95,171	58,918
受取手形及び売掛金	202,469	160,459
商品及び製品	131,430	136,205
仕掛品	273	459
原材料及び貯蔵品	125,086	166,907
その他	67,259	67,008
貸倒引当金	△113	△103
流動資産合計	621,578	589,856
固定資産		
有形固定資産		
土地	310,040	305,211
その他(純額)	305,391	305,388
有形固定資産合計	615,432	610,599
無形固定資産	49,459	48,630
投資その他の資産		
投資有価証券	118,788	144,109
その他	23,448	25,515
貸倒引当金	△583	△576
投資その他の資産合計	141,653	169,049
固定資産合計	806,545	828,279
繰延資産		
社債発行費	504	483
繰延資産合計	504	483
資産合計	1,428,628	1,418,619
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	182,417	157,143
短期借入金	179,512	188,700
未払金	198,315	144,366
未払法人税等	11,234	7,598
引当金	2,705	2,628
その他	29,674	22,312
流動負債合計	603,860	522,750
固定負債		
社債	37,700	37,700
長期借入金	475,659	532,065
退職給付に係る負債	8,833	8,166
引当金	14,405	14,465
その他	80,648	79,452
固定負債合計	617,247	671,850
負債合計	1,221,107	1,194,600

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,246	107,246
資本剰余金	16,967	16,967
利益剰余金	7,942	21,969
自己株式	△145	△145
株主資本合計	132,010	146,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,505	7,516
繰延ヘッジ損益	749	624
土地再評価差額金	21,249	21,337
為替換算調整勘定	10,568	10,603
退職給付に係る調整累計額	△2,890	△2,260
その他の包括利益累計額合計	35,183	37,821
非支配株主持分	40,326	40,158
純資産合計	207,520	224,018
負債純資産合計	1,428,628	1,418,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	744,400	595,382
売上原価	708,500	543,642
売上総利益	35,900	51,739
販売費及び一般管理費	31,054	28,862
営業利益	4,846	22,877
営業外収益		
受取利息	83	68
受取配当金	445	1,006
持分法による投資利益	—	1,024
その他	1,473	1,064
営業外収益合計	2,003	3,164
営業外費用		
支払利息	3,182	3,223
持分法による投資損失	619	—
その他	968	654
営業外費用合計	4,771	3,878
経常利益	2,078	22,163
特別利益		
固定資産売却益	184	56
持分変動利益	—	1,565
特別利益合計	184	1,622
特別損失		
固定資産売却損	21	—
固定資産処分損	743	748
減損損失	16	47
投資有価証券評価損	157	10
事業構造改善費用	1,011	812
特別損失合計	1,950	1,618
税金等調整前四半期純利益	311	22,166
法人税等	5,643	7,813
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,331	14,353
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,146	682
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,478	13,671

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,331	14,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	660	1,722
繰延ヘッジ損益	△403	△63
為替換算調整勘定	△265	248
退職給付に係る調整額	463	665
持分法適用会社に対する持分相当額	△678	△23
その他の包括利益合計	△222	2,549
四半期包括利益	△5,554	16,902
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,696	16,221
非支配株主に係る四半期包括利益	1,142	681

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	石油事業	石油化学事業	石油開発事業	その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	723,731	2,887	12,555	5,225	—	744,400
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,660	4,737	5,928	8,562	△28,889	—
計	733,392	7,625	18,484	13,787	△28,889	744,400
セグメント利益又は損失(△)	△6,106	△1,758	9,575	500	△132	2,078

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事業、保険代理店業、リース業、旅行業、風力発電業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△132百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、たな卸資産の調整額△1百万円、固定資産の調整額△124百万円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	石油事業	石油化学事業	石油開発事業	その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	578,775	3,630	7,658	5,317	—	595,382
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,342	4,983	3,374	9,129	△26,829	—
計	588,118	8,614	11,032	14,447	△26,829	595,382
セグメント利益	18,011	1,400	2,623	541	△414	22,163

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事業、保険代理店業、リース業、旅行業、風力発電業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△414百万円には、セグメント間取引消去25百万円、たな卸資産の調整額△101百万円、固定資産の調整額△338百万円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(重要な会社分割)

当社は、平成27年8月4日開催の取締役会において、平成27年10月1日を効力発生日として、当社の燃料油販売事業及びカーリース事業ならびに関連する関係会社株式に係る資産管理事業を、当社の完全子会社であるコスモ石油マーケティング㈱に、また当社のサービスステーションに係る資産管理事業を、当社の完全子会社であるコスモ石油プロパティサービス㈱に、それぞれ会社分割し承継させることを決議しました。

詳しくは、平成27年8月4日付けの当社適時開示情報「持株会社体制への移行に向けた会社分割（簡易吸収分割）のお知らせ」または当社プレスリリースをご参照ください。